

試験番号：NB - 13 - 0036

受付日：平成25年 4月23日

報告日：平成25年 5月20日

吹付け硬質ウレタンフォームの  
透湿性能試験  
報告書

一般財団法人 日本建築総合試験所  
試験研究センター  
センター長  
工学博士 井上 一郎



技術管理者

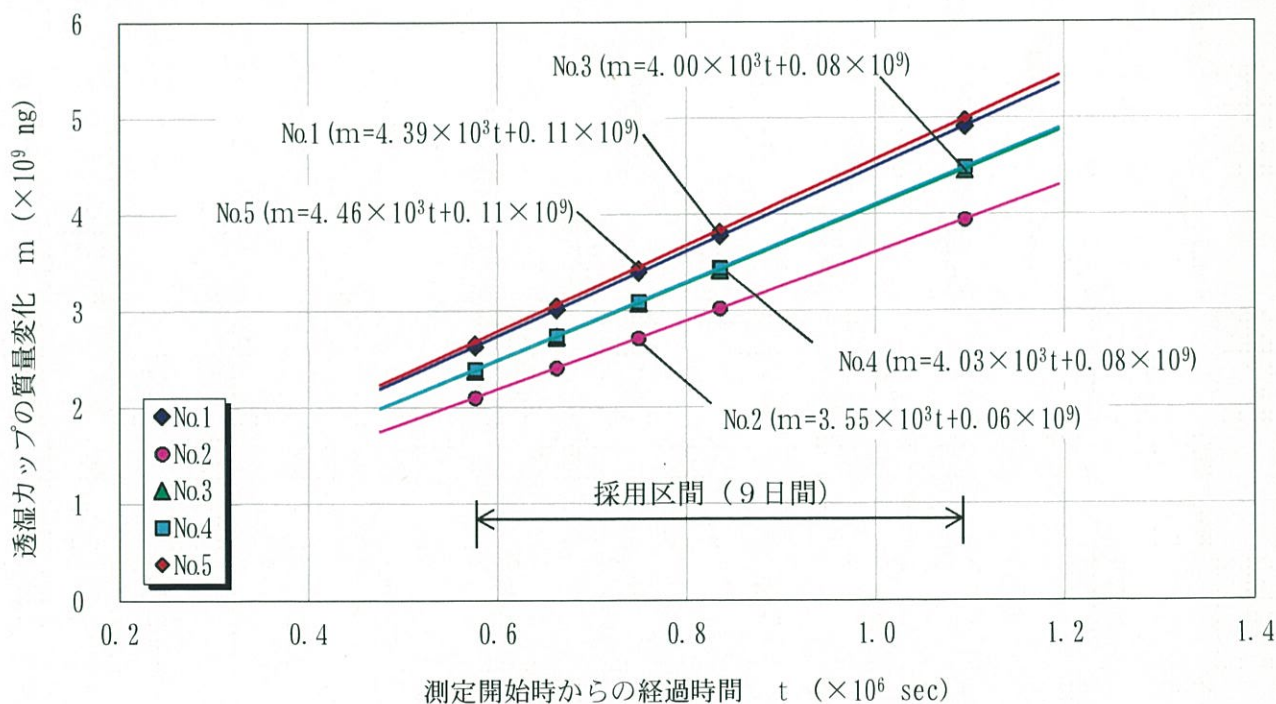
環境試験室長  
博士（工学） 小南 和也



依頼者	会社名	BASF INOAC ポリウレタン株式会社					
	所在地	愛知県新城市川田字本宮道1-196					
試験	品目名	吹付け硬質ウレタンフォーム					
	商品名	フォームライトSL 100					
	製造会社名	BASF INOAC ポリウレタン株式会社					
	製造年月日	平成25年4月10日					
	ロット番号	ポリオール成分：10A30408、イソシアネート成分：392S30304					
	実測寸法及び質量	試験体番号	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5
		直径φ (mm)	76.3	76.9	75.7	76.5	77.0
厚さd (mm)		26.3	26.0	26.1	26.3	26.3	
質量 (g)		2.42	2.44	2.19	2.28	2.44	
密度 (kg/m <sup>3</sup> )		20.1	20.2	18.6	18.9	19.9	
養生条件	試験体は当所に搬入後、23℃、50%RHの恒温恒湿室内で7日間、気乾養生した。						
試験体	断面見取図 (寸法単位：mm)						
	<p>スキン層</p> <p>吹付け硬質ウレタンフォーム</p> <p>φ</p> <p>d</p> <p>公称フォーム密度：17kg/m<sup>3</sup></p>						
試験方法	JIS A 9526:2010「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム (追補1)」6.2.8 透湿率による。なお、測定はJIS K 7225:2005「硬質発泡プラスチック-水蒸気透過性の求め方」によった。						
	<p>[試験装置概要図]</p> <p>恒温恒湿室内 23℃、50%RH (1400Pa)</p> <p>試験体</p> <p>シール材 (パラフィン)</p> <p>吸湿材 (無水塩化カルシウム)</p> <p>透湿カップ (ガラス製)</p>						

試 験 年 月 日		平成25年4月30日 ~ 同年5月13日				
試 験	試 験 体 番 号	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5
	試験体両面の水蒸気圧差 $\Delta P$ (Pa)	1400	1400	1400	1400	1400
	透湿面積 A (m <sup>2</sup> )	$4.57 \times 10^{-3}$	$4.64 \times 10^{-3}$	$4.50 \times 10^{-3}$	$4.60 \times 10^{-3}$	$4.66 \times 10^{-3}$
	透湿量* G (ng/s)	$4.39 \times 10^3$	$3.55 \times 10^3$	$4.00 \times 10^3$	$4.03 \times 10^3$	$4.46 \times 10^3$
	透湿抵抗 $Z_P = \Delta P \cdot A / G$ (m <sup>2</sup> ·s·Pa/ng)	$1.46 \times 10^{-3}$	$1.83 \times 10^{-3}$	$1.58 \times 10^{-3}$	$1.60 \times 10^{-3}$	$1.46 \times 10^{-3}$
結		平均 : $1.59 \times 10^{-3}$				
	透湿係数 $W_P = 1 / Z_P$ [ng/(m <sup>2</sup> ·s·Pa)]	$6.86 \times 10^2$	$5.46 \times 10^2$	$6.35 \times 10^2$	$6.26 \times 10^2$	$6.84 \times 10^2$
果		平均 : $6.35 \times 10^2$				
	透湿率 $\mu = W_P \cdot d$ [ng/(m·s·Pa)]	18.0	14.2	16.6	16.5	18.0
		平均 : 16.7				

\* : 1秒当たりの透湿量は、下記区間における直線近似式より算出した。



試 験 機 関	一般財団法人 日本建築総合試験所 (所在地：大阪府吹田市藤白台5丁目8番1号)
担 当 者	試験研究センター 環境部 環境試験室 試験責任者：川谷 翔二 試験担当者：小早川 香

### 本書の取扱いについて

- ・ 本書の最終ページは本ページです。
- ・ 本書の試験結果は、本書中に記載の試験体について得られたものです。
- ・ 本書を複製して第三者に開示する場合は、必ず全文を複製することとし、一部分だけの複製は行わないで下さい。
- ・ 本試験結果の一部を、当試験所の名称を付してカタログに掲載する等、一般に開示する場合は、文書によって当試験所の承認を得るようにして下さい。

本書についての問い合わせは、下記までお願いします。

一般財団法人 日本建築総合試験所 試験研究センター  
環境部 環境試験室

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5丁目8番1号

TEL : 06-6834-0603 (直通)

06-6872-0391 (代表)

FAX : 06-6834-0618 (直通)

06-6872-0784 (代表)